

市議会だより

令和元年12月定例会の内容をお届けします。

● CONTENTS ●

- P 2 12月議会の概要
会議結果
- P 3 市政一般質問
- P 10 委員会活動報告
- P 14 編集後記



～春を彩る雛飾り～

12月

定例会

島原市の

こんなことが決まりました！

会 期

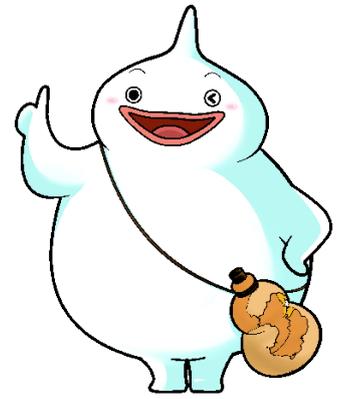
令和元年 11月29日～12月18日 20日間

条例の制定…	1件	補正予算…	1件	人事案件…	2件
条例の改正…	3件	決算……………	1件	合計	13件
一般議案……………	4件	請願……………	1件		

審議された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果
第 61 号	平成 30 年度島原市一般会計歳入歳出決算	認 定
第 70 号	島原市会計年度任用職員の報酬等に関する条例	原案可決
第 71 号	市長及び副市長の給与に関する条例及び島原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第 72 号	一般職の職員の給与に関する条例及び島原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第 73 号	島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第 74 号	公の施設の指定管理者の指定について（有明福祉センター）	原案可決
第 75 号	公の施設の指定管理者の指定について（有明の森フラワー公園）	原案可決
第 76 号	公の施設の指定管理者の指定について（有明プール）	原案可決
第 77 号	公の施設の指定管理者の指定について（平成町人工芝グラウンド）	原案可決
第 78 号	平成 31 年度（令和元年度）島原市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
請願第 5 号	「核兵器禁止条約」に関する請願	不 採 択
第 79 号	島原市公平委員会委員の選任について（林 敏明 氏）	同 意
第 80 号	島原市公平委員会委員の選任について（横山祐市 氏）	同 意

市政のここを問う！



一般質問

一般質問とは、市政全般に関することを議員が市に対して質問し、説明を求めるものです。
全質問項目は下記のとおりです。（ の項目は、本文に内容を掲載しています）

12月3日（火）

○馬渡 光春 議員（4ページ）

- ・有明地区での防災避難訓練について
- ・環境対策について（ごみ問題対策）

○楠 晋典 議員（4ページ）

- ・公共施設等総合管理計画について
- ・庁舎建設について
- ・特定健診について
- ・自主防災会について

○上田 義定 議員（5ページ）

- ・公共施設等の総合的適正管理の更なる推進について
- ・働き方の変化による人口減少対策の可能性について

○林田 勉 議員（5ページ）

- ・島原への誘客に効果がある『島原：ロケツーリズム』の推進を！
- ・ふるさと納税（寄付金）について
- ・『コミュニティバス』は、いつから走り出すのか
- ・広域農道の傷み・補修について
- ・新庁舎・開庁記念行事は何をするのか？

12月4日（水）

○本田 みえ 議員（6ページ）

- ・公共施設等総合管理計画について
- ・新庁舎建設について

○松坂 昌應 議員（6ページ）

- ・受動喫煙防止対策
- ・公共施設等総合管理計画の強制力は
- ・大手広場と市役所
- ・まちづくり

○本田 順也 議員（7ページ）

- ・空き家対策について
- ・公共施設の使用状況について

12月5日（木）

○北浦 守金 議員（7ページ）

- ・県営畑地帯総合整備計画
- ・地方創生
- ・ラグビーワールドカップ（W杯）
- ・働き方改革について

○本多 松弘 議員（8ページ）

- ・人口減少対策について
- ・安心安全なまちづくりについて
- ・とことん子育てにやさしいまちづくりについて

○濱崎 清志 議員（8ページ）

- ・空き家と空地について
- ・地域おこし企業人について
- ・舞岳山荘を利用した英語の勉強会について
- ・土地開発公社について

12月6日（金）

○永尾 邦忠 議員（9ページ）

- ・手話言語条例について
- ・補聴器の助成について
- ・国道251号線、有明町大野浜バス停付近の横断歩道設置について
- ・九州横断サイクリングコース（仮称）について
- ・避難所としての中央高校体育館のトイレ設置について
- ・中小企業に対する年末の資金繰りについて

○草野 勝義 議員（9ページ）

- ・ワーク・ライフ・バランスと市職員の働き方改革について
- ・教育現場での労働環境について
- ・産業振興展示会出展に対する支援
- ・オルレによる観光交流の強化を
- ・島原温泉ゆとろぎの湯・歩行湯の現状



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

防災避難訓練

- Q** ①有明地区における防災避難訓練の評価や検証は？
（それぞれの参加数は？）
- ②実施の問題と検証は？**
（避難後の行動に問題が？）
- ③自主防災組織への期待と支援対策は？**
（地域の消防団との連携が大事では？）
- ④市の防災・減災体制の強化は？**
（各地で想定外の災害発生、より体制の強化が必要では？）
- A** ①小中学生が745人、住民1583人、消防団134人が参加。避難者カードを活用し、地域一体で実践的な訓練ができたと思う。
- ②避難場所が遠く、高齢者の避難対策等が必要。今回は身の安全確保を主眼に置いた。**
- ③防災組織独自の避難や救急救命訓練を期待。防災リーダー研修会、地域防災マップの作成を支援する。**
- ④情報集約システムを構築し、状況**

や情報を的確、迅速に提供する体制を整え、消防団と連携し、災害に強いまちづくりを目指す。

環境問題（ごみ対策）

- Q** 年々増加するごみ処理対策経費と今後の課題について。
- ①収集、処理にかかる費用、一人当たりの現状は？**
- ②資源ごみの状況は？**
- ③減量化対策の現状は？**
- ④不法投棄の現状は？**
- ⑤収集方法の一体化は？**
- ⑥可燃ごみ収集業務の民間委託の今後の計画は？**
- A** ①可燃ごみの収集量は年間1万6791トン、経費が7億6834万2千円、1キロ当たり45・8円。ごみ処理対策経費に一人当たり年間約2万円の経費が必要な状況。
- ②回収量2093トン。**
- ③ごみ収集量や処理対策費を公表して、市民全体で減量化を推進する。**
- ④年10万件が発生している。**
- ⑤ごみステーションが1220カ所**で全体の約85%。ステーション化を推進する。
- ⑥有明地区の委託で大きな効果があった。新年度以降も2地区ずつ委託を拡大していく。**



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

公共施設等総合管理計画

- Q** 床面積の削減にとられすぎるところがないか？例えば、母子寮や児童館について、その事業に沿った変更がなされるのか。
- A** どちらの施設も老朽化で施設自体は解体の予定だが、事業内容については引き継ぎ、施設についても検討していく。
- Q** 島原文化会館の存続を希望する会の方々を中心として、市内外から3万9060人分の署名が寄せられ市長へ提出された。市内に限定せず広く文化を受け入れてきた文化会館だからこそ、このように多くの署名が寄せられたと思う。どう受け止めているか。
- A** 時間をかけて集められたことに敬意を表すると同時に、文化会館のみならず、本市における公共施設の問題を周知できた良い機会になったことに感謝したい。

新庁舎建設

- Q** 本体工事の遅れが電気工事や空調工事の工期を圧迫した。電気工事や空調工事とも市内の業者が大きいため関わっており、請負契約であるために仕事量や残業代などの経済的負担が市内業者に大きくなったと思うが、どのように考えるか。
- A** 入札時にもいろんな議論をし、いろんな方々にご支援いただいた。結果的に3か月遅れで完成となったが、ある意味、皆さん方の御支援のおかげだと思う。
- Q** 新庁舎への引越しの時期が見えてくると思うが、年度の切り替え時期に当たるならば、いつそのことと人事異動の時期も合わせてはどうか。人事異動も少なめにして、ただでさえ多忙な新年度時期にレベルダウンは避けるべきではないか。
- A** 市政を推進するうえで大事なことは、適材適所でやらなければならない。市が一丸となって乗り越えていけるよう努力したい。
- 【その他の質問項目】**
- ◇特定健診について
 - ◇自主防災会について



新風会
うえだ よしきだ
上田 義定 議員

公共施設等の総合的適正管理の更なる推進

Q 本市の公共施設等総合管理計画、確実な実行が持続可能な将来の島原市のため、郷土に残ってもらいたい子や孫のために大切。進捗状況は。

A 平成29～31年度、日本庁舎、白山保育園など8施設の廃止と三会小や津吹団地など5施設の改修が予定通り進行。廃止施設は8施設で4129㎡の計画に対し、9施設4516㎡の見込みで、やや前倒しで進んでいる。

個別施設計画について。

A 県下13市で本市を含め4市が策定を完了している。文化会館をはじめ、皆さんから議論をいただいているが、全ての市や町が危機感を共有しており、決して島原市だけが厳しいことを言っているのではなく、どこも同じなのだということを申し上げさせていただきます。

Q 計画には財源も必要。合併特例債、その他起債を早めに計画するべきだと考えるが。

A 合併特例債、過疎債ほか、負担等総合的に勘案し、活用をしていきたい。

働き方の変化による人口減少対策の可能性

Q コワーキングスペースとは。

A フリーランスや起業家などがオフィスを共有しながら仕事をする場所。情報交換や新たなアイデア創出などコミュニケーションを活用しながら仕事ができる特徴がある。

Q ワークেশション・コワーキングスペース、これらに新しい企業誘致・UITターンの可能性はあるのでしょうか。

A ITにより、地方に生活しながら都会と同様に仕事ができる時代。島原にもお試しオフィスに来てもらえればネット環境があるので、ベンチャー企業等にお試しで仕事してもらえらる。空き家の改修費も協力できるのでは。本市で実現可能な提案。前向きに検討させてほしい。



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

島原への誘客に効果のある『島原・ロケッツリズム』の推進を！

Q 今後どのように進めていくのか。誘致の話があった場合、情報の一元化が大事。新年度に向け専門部署の設置が必要と思うが。

A 窓口・現場・情報発信の担当が必要。今後の組織づくりで検討したい。

Q 先手必勝！先進地では予算を組んで実績を上げていく。本気度を出して来年度は挑戦する年にしたらどうか。

A 財政面も十分考慮し、検討したい。

ふるさと納税（寄付金）

Q 返礼品は島原のイメージであり、顔である。品質管理はどうしているのか。

A 商品確認や現況調査をし、万全を期している。

Q 寄付金の使途や、お礼の動画を配信したらどうか。

A 情報発信も前向きに検討したい。

コミュニティバスはいつから走り出すのか？

Q ルート・運行回数・料金などの全体計画は決まったのか。

A 杉谷から三会、三会から有明、有明内ルートで1日4往復、電話でのデマンド方式の導入、乗車1回200円など、島鉄と協議中。

Q 運行開始はいつからか。

A 初市にはバスで来てほしいとの思いで進めている。

広域農道の傷み・補修

Q 傷みが激しい。改修の年次計画はあるのか。

A 現状を県に伝える必要があると思う。

新庁舎開庁記念行事は何をするのか？

Q 市民の方が思い出に残るようなイベントが出来ないか。新・門出を祝う新庁舎で、市長が立会人になつての結婚式はどうか。

A 婚姻届・カップル撮影コーナー等、事前に申し込めば生涯一度の記念イベントは可能と思う。



バラの会
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

公共施設等総合管理計画

Q 母子寮の今後のスケジュールは。

A 令和2年3月末に廃止の予定。

Q 機能はどのように維持するか。

A これまで同様に支援策と一緒に考えていくとともに、必要に応じて訪問をするなどして、御家庭の状況を見守っていきたいと考えている。

Q 24時間体制の対応は。

A 必要に応じて、婦人相談所と連携をとりながら対応していくように考えている。

Q 三会保育園の現在の状況は。

A 19名定員3〜5歳児13名、保育時間8時半〜17時。学童保育は通常1〜2年生10名、夏休み等27名。

Q 保護者のニーズは。

A 0〜2歳児保育、保育時間の延長。

Q 圃場整備で若者の就農がふえており、次の世代の育成は重要課題。子育てモデル地域としても、三会原地区を支援して。

A 地元農家をはじめとして地元の方々の声を集めながら検討する余地はあると思う。あくまでも40年間の方向性の中でこういった議論が全面的に出てきたということは、いいことかなとも思っているので、十分これから検討をさせていただければと思う。

新庁舎建設

Q 敷地内禁煙の喫煙所はどこに。

A 駐車場一角で、川床デッキ下の大手川沿いの最も山側の雨に濡れない場所に、パーテーションで囲まれた喫煙場所を設置するよう考えている。

Q 冷水器にしまばらんの活用は。

A 例えば、壁にしまばらんが水を飲んでいる絵とかを描くことは検討可能かと思う。

Q 湧水の活用は。

A きれいで、かつ今あるもので何ができるのか、そういったのを含めて検討すべきだと思う。



バラの会
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

受動喫煙防止対策

Q 健康増進法改正の基本的な考え方は。

A 望まない受動喫煙をなくすこと、受動喫煙の健康影響が大きい子供や患者等に配慮することなど。多数の者が利用する施設で、学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎等は第一種施設として、敷地内禁煙が令和元年7月1日から義務づけられている。

Q 有明庁舎2階屋上の喫煙所は施設内に煙の流入がある。違法ではないか。

A 第一種施設に認められる「特定屋外喫煙場所」の要件をみたしている。建物内への煙の流入を防止しながら施行したい。

「公共施設等総合管理計画」の強制力は

Q あくまで計画のたたき台であるから、今後市民参加による見直しもありうるか。

A いろんな形で御意見をお聞きすることは必要。

まちづくり

Q イオンから水頭通りの辺の計画の進捗は。

A イオン存続についてはイオン九州(株)と島原鉄道(株)で建て替え等について継続協議中。イオン存続は市民の声でもあり、市としても活性化に寄与するものと認識している。

国道251号から音無川付近までの市道堀町縦線は市道を南側へ付け替えて、敷地を一体的に利用し商業施設を建て替える計画なので、市道付け替えに、市として協力したい。

【その他の質問項目】

◇ 大手広場と市役所
(敷地内湧水を生かした施設を)



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

空き家対策

Q 人口減少により移住を進めても厳しい現状。しかも島原は田舎暮らしには選ばれない。交通が不便なため企業誘致につながらない。今後、跡継ぎがない家をどうするか。

- ① 空き家の現状は。
- ② 視察した岐阜県羽島市では、空き家になる前の終活セミナーや個別相談会を開催するなど、官民一体で発生防止に取り組みされている。本市での取り組みは。
- ③ 今後の具体的な内容、対象は。
- ④ 家族信託制度が把握されておらず、専門家も少ない。行政がつくる役割を担ってはどうか。

A ①平成28年調査では、活用が見込めるAランクが354戸、Bが127戸、Cが17戸、周囲に影響を与えるDが54戸の計552戸。調査以降もふえていると思われる。
②協定を結んでいる県司法書士会から空き家の終活に向けて相談会の開催の相談を受けているので、協力して取り組みたい。

また、今後、老後について市に相談等があるので、司法書士会、市シルバー人材センター、県宅地建物取引業協会島原支部とも協力したい。
③土地、空き家について、将来の心配がある方の無料相談会を今後計画しないといけない。

④羽島市は参考にしたいが、権利関係は難しい問題を含んでいる。個人の財産なので慎重に取り組むべきものと考えます。

公共施設の使用状況

Q 取り壊しを検討している島原文化会館で開催している市主催の行事を、有明文化会館で一度やってみてどうか。同館での行事が他の施設に移れば、存続を求める声もやや緩和されると思うが、また、有明にも行事を残してほしい。

A 収容能力では対応可能だと思いが、実験的に移して不具合があってはまずい。島原文化会館が存続する間は同会館で実施したい。

Q 有明の足湯施設が台風被害で使用できないようだが。

A 改善できなかった温度のこともあり、今回、美人の湯入口にコンパクトな施設を整備予定。年度内に供用を再開したい。



実践クラブ
きたうら もりかね
北浦 守金 議員

県営畑地帯総合整備計画

Q 圃場整備事業の三会原第3地区、第4地区の進捗状況は。

A 三会原第3地区は受益面積87.8ヘクタール、受益戸数187戸、工期は令和2年まで、進捗率82%。第4地区は受益面積111.9ヘクタール、受益戸数318戸、完成目標は令和4年、進捗率4%。

Q 国、県にどのように要望して事業費を確保しているのか。

A 毎年、県や土地改良団体連合会と一緒に再三、要望している。補正予算を含めれば、ピーク時点で達した。当初予算の満額確保が大前提であり、常にそこに主眼を置いた予算確保に積極的にかかわっている。

Q 三会原第4地区の石の確保について、状況はどうか。

A 7月に島原振興局長名で関係機関へ石材確保に向けた協力依頼を出された。県とともに情報収集に努めており、石材確保に取り組みたい。

Q 中原・寺中地区の圃場整備の推進委員会が発足しているが、状況は。

A 推進面積33ヘクタール、地権者148名で計画。平成30年1月の設立以降、21回開催。仮同意率は約90%。

地方創生

Q ①政府が2014年に制定した地方創生総合戦略の目的、②本市の施策と効果、③今後の課題は。

A ①人口減少、少子高齢化、東京一極集中を踏まえ、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保する目的で策定されたもの。②平成27年に島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定。目標を上回っているのは移住・定住者数、農林水産業の新規就業者数、食料品製造業の雇用者数。目標を下回っているのは、観光入り込み客数、出生数。人口の社会動態は下げ止まり傾向で、一定の効果が出ていると認識している。③農林水産業は所得向上と担い手確保・育成、商業は事業承継対策や経営基盤強化、また、島原城築城400年を核とした観光施策の推進やキャンプ・合宿誘致、ロケツーリズム推進による交流人口の拡大、移住・定住へ裾野拡大のため関係人口の創出・拡大が必要と考える。

【その他の質問項目】

◇ラグビーワールドカップ（W杯）
◇働き方改革について



会 民の 庶
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

人口減少対策

Q オルレコースをどのように発展させ、交流人口の拡大を図るかが大切。南島原市のコースと連携しながら宿泊型の観光客の増加へとつなげていただきたい。

A 南島原コースと連動して宿泊し、温泉や湧水にふれて島原半島を楽しんでもらい、交流人口の拡大につなげたい。

Q 企業誘致の現状と具体的な成果は？今できることを積み重ねていく事が大事だと考えますが？

A 島原にゆかりのある人脈を通じて企業訪問などを行っている。ITベンチャー企業の誘致は一朝一夕ではできないので人脈を通じた誘致活動に努めたい。

Q ふるさと納税では、物の返礼品だけでなく、メンタル的な満足を返礼品とした寄付を頂いている事例もある。参考にしていただきたい。

A 物の寄付で税額控除を受けられる好事例を示してもらった。また、

物ではない返礼がふるさと納税の原点なので、大変参考になる。

安心安全なまちづくり

Q 高潮対策の埋立予定地、締切堤防の住民への周知が不十分ではないのか？

A 工事の期間と概要を町内会の回覧で知らせているが、今後は詳細な内容も回覧等で周知したい。

Q 高潮対策警戒時期の周知が必要だと考えますが？

A 現在は高潮のおそれがある場合、チャラシ配布や消防団による警戒を実施。今後は満潮時の潮位5メートル以上が予測される場合、啓発用チャラシや防災無線でも周知したい。

Q イオンと中央公園間に横断歩道の設置を。

A 警察と協議したが、2ヶ所の横断歩道が近くにあり難しいとのことだが、再度、要望は伝えたい。イオンの建て替えに伴い市道を南側へ付け替える場合は、一連の将来構想の中でも十分検討したい。

【その他の質問項目】

◇防災メールの普及について

◇道徳教育について

◇教職員同士の連携について



会 民の 平
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

空き家と空地

Q 取組状況は。

A 市内の空き家数は552件。空き家バンクは21件登録で、そのうち12件成約。老朽危険空家除却支援事業の紹介等を実施。

Q 空家等対策協議会について、①実施状況は。②機能していないのは。③成果は。

A ①平成29年度は3回、30年度は1回、本年度は未開催。②29年度は空家等対策計画を策定、30年度は特定空家決定に関する意見を伺っている。③相談窓口の設定、空き家情報等のデータベース化、危険空家除却事業を33件実施。

Q 課長、係長を責任者にして空家対策を進めるべき。

A 民間の方々にも協力をいただくようなチームをつくり、提案等をしていただき結論を導くことが実効的。検討したい。

Q 高齢者のみの世帯数は。
A 市の全世帯数は1万6970。

単身高齢者世帯数は2298、高齢夫婦世帯数は2347。

Q 通学路沿いの空き家等の把握は。

A 詳細に把握できていなかった。関係部署と連携し、学校と情報を共有した。

Q 本市の人口減少の推移は。

A 令和2年は4万3426人、令和27年は3万1406人と推計。

地域おこし企業人

Q 総務省が推進しているが、採用の検討は。

A 平成30年度で56自治体が活用。本市は内閣府の制度を活用した。

Q なぜ取り組まなかったのか。

A 今までは国とのつながりが大きな目標。今後は民間活力の活用を念頭において考える。

Q 本市は民間企業に職員を派遣しているが、財政支援がある取り組みをすべき。企業のノウハウを取り入れる努力をしてほしい。

A 民間の方々がいい経験値を本市に取り入れさせていただきたい。

【その他の質問項目】

◇舞岳山荘を利用した英語の勉強会について

◇土地開発公社について



公明党
ながお くにただ
永尾 邦忠 議員

手話言語条例

- Q** ① 条例制定後の取り組みは。
 ② 手話奉仕員養成講座の現状は。
 ③ 手話通訳者養成講座の現状は。
 ④ イベント等へ手話通訳者の参加を。
 ⑤ 職員が挨拶程度の手話ができるような勉強会にしてほしい。
- A** ① 条例の概要や手話に関する施策等を市の広報誌とホームページ上で市民に周知。また、聴覚障害者の外出等を支援するコミュニケーション支援事業や手話奉仕員養成講座を引き続き実施。今後は出前講座、聴覚障害者等に対する理解促進のための事業などに取り組みたい。
- ② 県ろうあ協会に委託し、事業を実施。1年目の入門過程と2年目の基礎過程があり、40から50時間の講座。27年度から5年間で24名が修了。
- ③ 手話奉仕員養成講座修了者等を対象とした講座。県においては長崎市等で開催。島原半島での開催はないが、南島原市は自主的に開催。本市での実施を県に要望しているが、一定の受講者が必要であるので、半島両市と協議したい。

- ④ 派遣を今後は考えたい。
 ⑤ 市福祉課職員同士による手話ワークショップ講座を実施しているが、手話ができる職員の配置、筆談なども勉強して配慮していきたい。

補聴器の助成

- Q** ① 障害者手帳を持っている方への補聴器購入の助成は。
 ② 聴力の等級を設定しての助成を。
 ③ 高齢者の外出を阻害し、引きこもりの状況が発生しないのか。調査は。
 ④ ヒアリンググループの活用は。
- A** ① 本市の聴覚等障害による身体障害者手帳取得者は269名。補装具に助成制度がある。
- ② 助成を独自に取り組んでいる自治体がある。事例を研究したい。
- ③ 調査方法を考えたい。
- ④ 雑音を遮断し、クリアに聞き取れる設備である。市でも研究したい。

【その他の質問項目】

- ◇ 国道251号線、有明町大野浜バス停付近の横断歩道設置について
- ◇ 九州横断サイクリングコース(仮称)について
- ◇ 避難所としての中央高校体育館のトイレ設置について
- ◇ 中小企業に対する年末の資金繰りについて



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

ワーク・ライフ・バランスと市職員の働き方改革

- Q** 仕事と生活の調和のとれた働き方(ワークライフバランス)の具体的な対策は。
- A** 健康増進を目的とした健康保持休暇の計画的な取得と毎週水曜日のノー残業デーを実施している。一人一人が活躍できる環境の整備に努めていく。
- Q** 長時間労働改善に向け、業務改善見直し対策委員会の設置はできないか。年休取得5日の取り組み状況については。
- A** 各業務改善についてヒアリングを実施していく。取得計画表を作成させ、年休の使用促進に努めている。
- Q** 土日開庁のサービスについて、職員の働きやすい環境を実現するため日曜日開庁を無くし、土曜日のみ予約制にしてはどうか。
- A** 市民の利便性、職員の労働環境等を含めて、両方のバランスが整うように今後研究する必要がある。

- Q** 「会計年度任用職員」制度について。
- A** 法の改正により令和2年4月1日から非常勤職員制度が、新設された「会計年度任用職員」制度に移行され、期末手当や通勤手当を支給することになる。

教育現場での労働環境

- Q** 教員の勤務多忙化改善に向け、教職員一人一人の時間外勤務の記録はどうか。通信ネットワーク整備の考えは。
- A** 自己申告による毎月出勤記録簿の提出により把握している。教職員の事務負担が減るように、11月にICカードリーダーを各学校に導入した。学校間の通信環境の整備は計画的に進めていきたい。
- Q** インフルエンザ補助事業を中学校までに。
- A** 県内の状況を見ながら引き続き検討したい。
- ◇ 産業振興展示会出展に対する支援について
- ◇ オルレによる観光交流の強化を求める
- ◇ 島原温泉ゆとろぎの湯・歩行湯の現状について

委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、**総務委員会・産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会**を開き、審査を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

また、去る9月定例会において、閉会中の継続審査として付託された第61号議案について10月2日、3日の2日間で決算審査特別委員会を開き審査しましたので、その概要をお知らせします。

総務委員会

審査件数5件

●第70号 島原市会計年度任用職員の報酬等に関する条例【可決】

pick up 会計年度任用職員制度が創設されることから、会計年度任用職員の報酬等に関する事項を定めるため、条例を制定する

Q 任期は単年度ということだが、最長3年という縛りがあるのか。

A 再度の任用を行う際、従前の勤務成績を見て、公募によらず年度をまたがって2回まで任用できるので、合計3年間ということになる。それ以降は、ハローワーク等に応募していただいで選考し、任用することになる。

Q 短期間のパートは市役所に申込みをされて任用されていたが、今後はどうなるのか。

A 2カ月任用の短期間の職も残るが、ハローワークに求人を出したときにタイミング的に合うのか難しい部分があるので、登録制度に近いものを残していけないと、臨機応変には人材確保ができないと思う。

●第71号 市長及び副市長の給与に関する条例及び島原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up 国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び市議会議員の期末手当を改定する

●第72号 一般職の職員の給与に関する条例及び島原市一般職の任期制職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up 国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の給与を改定する

Q この給与改定は、若年層の給与体系が良くなるということか。
A そのとおりである。

●第74号 公の施設の指定管理者の指定について（有明福祉センター）【可決】

pick up 有明福祉センターの管理を「島原市社会福祉協議会」が引き続き行う

Q 利益が出た場合は市に返納する制度もあるのか。

A 収益が100万円を超えた場合に100万円を超えた分の2分の1を収益配分金として市に納めるようになってはいるが、現在のところ実績はない。

Q 応募が1件だけのようだが、活性化するようなプランの提示は何かあったのか。

A PRについてSNSを利用してPRしたいという話はあった。また、自主事業として物販ができないか、こちらから協議をもちかけてみたいと考えている。



島原市有明福祉センター

●請願第5号 「核兵器禁止条約」に関する請願【不採択】

【反対討論】現時点で周囲の国々の状況、核保有国、また新たに核を保有しようとする国がある中、核がなくなりつつあるように世界的な行動ができるにはまだまだ時間がかかると考える。

【賛成討論】被爆県であるこの長崎県の県民の立場に立ってこの意見書を政府に提出していただき、政府が真摯に考えていただくということの一つでも後押しをしていきたい。

産業建設委員会

審査件数1件

●第75号 公の施設の指定管理者の指定について（有明の森フラワー公園）【可決】

pick up
有明の森フラワー公園の管理を「株式会社 プチライフ」が行う

Q 管理する範囲について。

A フラワー公園として花壇、公園、ダチョウ園、小動物の飼育小屋、物産館並びに物産館別館である。

Q 現在は2社の共同事業者が指定管理者であるが、今回はそのうち1社での申請である。その理由は。

A 2社のうち1社が植栽等を担当する農園であるが、仕入れ等を地元で行っており、関与が小さくなってきたため、もう1社のみでの申請になったと聞いている。

Q 動物を指定管理者が購入しているようだが、市が予算を確保し補充をして、指定管理者が飼育、管理をするべきではないのか。

A ダチョウに関して是非常に寂しいという意見があり、指定管理者が急遽購入された。本来であれば、予算措置をして市で購入するのが理想であるので、今後、協議をしたい。



有明の森フラワー公園の物産館別館（森の珈琲）

教育厚生委員会

審査件数3件

●第73号 島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
児童福祉法の一部改正に伴い、所要の整備を図る

Q 条例改正の内容は。

A 国において、成年被後見人等にかかる欠格条項の見直しが行われ、児童福祉法が改正されたことから、児童福祉法を引用している本市の条例の改正をお願いするものである。

●第76号 公の施設の指定管理者の指定について（有明プール）【可決】

pick up
島原市有明プールの管理を「株式会社 しまばらウエルネス」が行う

Q 平成30年度に指定管理料を増額されているようだが、どのような理由からか。

A 燃油の高騰を受けて増額をした経緯がある。

Q 公共施設等総合管理計画においては、公設プールや民間プールなどの有効活用を図ることで、学校プールの廃止や統合も検討するようにしているようだが、どのような状況か。

A 個別施設計画の中で、現段階では、学校プールを4つ減らして共同で使うという計画を出している。

しかしながら、公設のプール等もあるので、それらを活用できないかなども含め、慎重に検討をしているところである。

●第77号 公の施設の指定管理者の指定について（平成町人工芝グラウンド）【可決】

pick up
平成町人工芝グラウンドの管理を「一般社団法人 長崎県サッカー協会」が行う

Q 利用者数の推移は。

A 平成29年度が約10万7千人、30年度が約10万人、本年度は令和元年10月現在で約11万人となっており、例年以上にふえている状況である。

Q 利用者が多い施設だが、トレーニングルームの器具は足りているのか。

A トレーニングルームのスペースの関係もあり、今以上に機器を入れると安全性の確保の面など、難しい部分もある。



予算審査特別委員会

●第78号 平成31年度（令和元年
度）島原市一般会計補正予算（第
3号）【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ
2億3595万7千円を追加し、予
算の総額を245億2502万4千
円とするもの。

審査に当たっては、まず常任委員
会を単位とする各所管の分科会から
の審査報告を行い、その後、総括質
疑を行いました。

Q 有明温泉施設経費の足湯移設費用
の内容は。

A 有明福祉センターの玄関右側の通
路部分に長さ3メートル、幅60セン
チメートル程度の足湯を設置する計
画である。

Q 本市でのマイナンバーカードの発
行数と割合は。目標はどうか。

A 12月1日現在において、発行数は
5635枚で割合は12・4%であ
る。本市においては令和4年度末の
目標数値として、94%後半くらいを
設定している。



Q アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支
援事業はどういう事業なのか。

A アジア地域で拡大しているアフリ
カ豚コレラの侵入を防止するため、
感染拡大の要因とみられる野生イノ
シシの侵入防護柵の設置に対する支
援である。養豚農家の9経営体が豚
舎外周に約6キロメートルの侵入防
護柵を設置する。

Q 九州オルレコースの整備について
条件付きで認定を受けているようだ
が、その内容は。

A 平成26年度から毎年コースを変え
て申請をしている。今回は火山をテ
ーマとしたコースで申請を行った。
案内板の整備や未舗装の所を取り入
れるなどの条件が付いている。

Q 銀水の経費について、賃金と消耗
品費の補正予算がなぜ今、上がって
いるのか。

A 本年4月から観光交流館というこ
とで条例化し、開館時間を30分延
長、また、年中無休とした。それに

伴い、開館日が50日ほどふえるため
人件費と原材料費等の消耗品を計上
した。

Q 島原文化会館運営経費について、
当初予算で4740万円、補正予算
で1500万円の計上である。令和
8年度に廃止の計画であるのに、な
ぜ何千万円も費やすのか。現在の大
ホールの稼働率は。

A 修繕経費のうち、今年の4千万円
は調光装置であり、有明文化会館に
も使えるということなので改修を決め
た。稼働率は22%程度である。

Q オリンピック聖火リレー運営業務
委託料の概要は。

A 長崎県内では令和2年5月8・9
日の2日間で聖火リレーの通過が予
定されている。経費については本市
のスタート地点でのセレモニーのた
めのステージ設営や音響設備などの
ステージ関係の製作費、警備員や看
板などのコースの交通規制関係の経
費、そのほか小旗、のぼり旗、告知
看板などを製作する経費となる。聖
火リレーが島原市を通過する日程の
関係で、契約等については年度内に
させていただきたい。

Q 可燃ごみ収集運搬業務委託料につ

いて、有明地区の民営化は効果が上
がっているのか。

A 決算ベースで本年度だけで700
万円程度は削減できると見込んでい
る。市全体を委託した場合には、
2千万円程度の削減効果があると計
算している。

pick up (歳出)

地方公共団体への災害見舞金	510万円
個人番号カード利用環境整備 費	123万円
有明温泉足湯施設の移設	460万円
台風により被災した農家への 支援費用	998万5千円
島原市農村環境改善センター 屋上防水工事	760万円
九州オルレのコース整備等	342万7千円
銀水・浜の川湧水管理経費	225万円
有明中学校テニスコート人工 芝改修工事	230万円
島原図書館エアコン機器更新	1020万円
島原文化会館浄化槽天井コン クリート改修工事	1588万5千円

決算審査特別委員会

●第61号 平成30年度島原市一般会計歳入歳出決算【認定】

pick up	
歳入決算額	233億7713万1404円
歳出決算額	230億7039万5057円

審査に当たっては、市長から提出された「決算の概要」、「主要施策の成果説明書」、監査委員から提出された「決算及び基金運用状況審査意見書」などを参考にしました。

Q 島原鉄道への補助金の総額が約7千万円で前年よりふえている理由は。

A 鉄道・バスともに乗客数が減少し赤字の増、また、鉄道の車両やレールなどが老朽化し、維持費用がかさんでいることがあげられる。

Q 地域おこし協力隊員で退職した5名のうち残っているのは何名か。

A 株式会社トトノウという企業を設立した方が、現在1名残っている。

Q しまばら婚活サポート事業の取り組み状況は。

A 登録者数は118名である。平成30年度までの累計で7組の成婚実績がある。

Q ふるさと納税事務委託料の約3千万円の内訳は。

A 楽天のポータルサイトへの出店業務委託料が約1170万円、寄付管理と発送管理委託料が約1660万円、ふるさと納税プロモーション支援業務委託料が約235万円である。

Q 庁舎建設費について、仮事務所借上料の総額は幾らか。

A 本年度末までの雲仙復興事務所の庁舎仮事務所借上料は、合計で1500万円となる。

Q 社会福祉協議会の訪問介護は赤字経営だと聞か、撤退してもらい赤字を減らす協議はできないのか。

A 諫早市においては介護保険事業から撤退されている。社会福祉協議会に話してみたいと思うが、事務局でも介護保険事業について検討をされていると聞いている。

Q 地域活動支援センター事業委託料について、活動内容と委託先は。

A 障がいをお持ちの方に対して創作的活動、生産活動をする機会を提供しており、市内の清華学園、南島原市の島原グリーンステーションという事業所に委託している。

Q 看護学校就学資金出資金について、利用者数と市内に残られている人数は。

A 平成23年から医師会看護学校の事業で行われている無利子の融資制度

であり、これまで21名の貸与者がいる。21名のうち1名が在学中で、14名の方が市内に就職されている。

Q 前浜クリーン館で生産される「しまばらん恵」について、有料にしてから利用量に変化はあったのか。

A 平成29年度は無料で配布数が1万6471袋、30年度は有料で配布数が4893袋となっており、現在、在庫を約8千袋かかえている。

Q シルバー人材センター運営費補助金のほとんどが職員の給与である。職員数を整理し、あわせて手数料を見直すなどの協議を行い、市の補助金の手出しを減らしてほしいが。

A 現状では市の支援、補助で成り立っている状況である。市としても内容について精査をしていきたい。

Q 農業後継者支援事業経費について、事業を承継した場合、土地などの財産部分についての減税措置はあるのか。

A 農業後継者が親から農地を譲り受けた場合、通常、譲与税等が発生するが、專業の認定農業者であれば農業に専念することから、特別に納税猶予制度の適用が受けられる。

Q 商店街再生事業補助金の内容は。

A 商店街の空き店舗等に新規に入った方へ、家賃の2分の1以内の上限月額5万円を最大3年間、また、改

修費等に上限25万円の補助をする。30年度は野菜や饅頭の販売、ヨガスタジオ、美容室及びフットケアと健康カフェの4件である。

Q 島原城、武家屋敷の民有地の買収についての進捗状況は。買収ができないのなら返さざるを得ないと思う。

A 契約更新時に話をしたが、売却するという意向をいただいていない。引き続き購入に向け交渉をしたい。

Q 島鉄前など利用頻度が少ない飲泉所については整理して、管理費を少しでも抑えてはどうか。

A 飲泉所の温泉使用料が1カ所年間約75万円である。利用が少ない場所については、総合的に検討したい。

Q 小中学校学力向上対策事業費約541万円による成果はあったのか。

A 昨年度の全国学力調査では小学校の算数以外はマイナスだったが、本年度は小中学校の国語、算数、数学の全ての教科で全国平均を上回っている。

Q 校庭芝生化事業について、第四小学校で実施しているが、今後の取り組みは。

A 今までに三会小学校の校庭に植栽を行ったが、苗が定着できずに芝生化ができなかった。また、本年度は湯江小学校に話をさせていただいたが、十分な理解が得られず、実現化には至っていない。

市議会からのお知らせ

「議会中継」「会議録」「議会だより」

議会中継

本会議はケーブルテレビ、インターネットで視聴できます。

また、FMラジオでも放送されています。

(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から傍聴・議会中継へ)

会議録

会議録は、島原図書館、有明図書館、市内各公民館及び議会図書室にて閲覧することができます。また、市議会ホームページで平成5年以降の会議録を閲覧・検索することができます。

(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から会議録の検索と閲覧へ)

議会だより (音声版) (点訳版)

議会だよりは、定例会ごとに年4回発行し、市内各世帯に配布しています。

また、目の不自由な人向けに音声版、点訳版を島原声のボランティア「ゆずの会」及び島原点訳サークル「がんばっ点！」の皆さんのご協力により、それぞれ発行しています。

◇音声版、点訳版を希望する人は、福祉課障害福祉班に問い合わせてください。 電話63-1111 内線273

議会を傍聴してみませんか

次回定例会開会予定は **2月28日** (金) です。

●時間：午前10時 ●場所：有明庁舎3階 市議会議場



議場



傍聴席

● 編集後記 ●

元号が平成から令和に移り2年目を迎えました。

今回の議会だよりは、昨年(2019年)の12月定例会の会議内容をお知らせしております。

さて、今年(2020年)は東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、12月定例会では「東京2020オリンピック聖火リレー」に関連する補正予算が提案されました。

長崎県の聖火リレーは、5月8日、南島原市をスタートし、本市でも公募で選出されたランナーが、次の雲仙市ヘトーチの聖火をつなぐため走ります。先般、出発予定地の島原城天守閣前から到着予定地の島原文化会館までのルートが公表されました。島原城をはじめとする歴史・文化遺産、また平成新山に代表されるジオサイトなど、島原のみどころを世界にPRできるチャンスでもあり、ランナーの皆さんには大いに楽しんでいただきたいと思います。

今後も、訪れてみたいと思われるような魅力あるまちづくりに、議会も取り組んでまいります。議会に対するご意見等をお寄せください。

編集委員

(◎委員長 ○副委員長)

◎馬渡 光春 ○永田 光臣
松坂 昌應 林田 勉
永尾 邦忠 本多 秀樹
本田 みえ 北浦 守金

次回は
👉 5月1日

発行予定です
(年4回発行)

